

デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.272-273 北海道地方の自然環境
2. 目標 (1) 日本の北端に位置し、広大な面積を持つ北海道では、独特な地形や景観がみられることを理解できる。
(2) 亜寒帯に属する寒冷な北海道の気候について、地域による違いが生じる理由を考察できる。

3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道の山脈や山地、平野の名称を理解している。 ・北海道の気候の特色を地形や海流の特色を踏まえて理解している。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道地方と九州地方の地形や気候を比べて、共通点と相違点を説明している。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
節の見通し	0. 北海道地方の各地の写真を題材にし、「節の問い」への見通しを持つ。	 <p>p.270-271 1~7</p> <p>写真について、知っていることを挙げてみよう。</p> <p>「節の問い」について、学んでみたいことや、疑問に思ったことを自分の言葉で表してみよう。</p> <p>解決のために、何が分かればよいか、どのようなことを調べればよいかなど、見通しを立てよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北海道地方の各地の写真について知っていることを自由に発表させながら、本節への導入を図る。
導入	<p>1. 「流水の写真」と「酪農の写真」を題材にし、本時の課題をつかむ。</p> <p>2. 北海道の自然環境の特色を予想し、学習課題への見通しを持つ。</p>	 <p>p.270 1</p> <p>流水が見られるのは、北海道のどのあたりだろうか。また、なぜそこに流水がやってくるのだろうか。</p>  <p>p.270 4</p> <p>根釧台地と東京都の面積を比較してみよう。</p> <p>北海道の自然環境の特色を予想してみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 流水が見られる地域を地図帳などで確認しながら、本時への導入を図る。 ○ 地図帳のデジタル教科書の面積比較機能を活用し、根釧台地と東京都の面積と比較させ、北海道の広さをつかませる。 ○ 北海道の自然環境の特色を予想させる。 ○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。
<p>学習課題：北海道では、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。</p>			

展開

3. 北海道の位置や範囲、面積について確認する。



p.272 1

面積	九州	13.4	近畿	17.7	関東	17.7	東北	4.2	北海道	22.0
38万km ²	11.8%	8.8	16.9	17.7	17.7	17.7	17.7	4.2	22.0	4.2
中国・四国	11.4%	8.8	17.7	16.9	17.7	17.7	17.7	4.2	22.0	4.2
人口	1.2億人	11.4%	8.8	17.7	16.9	17.7	17.7	4.2	22.0	4.2

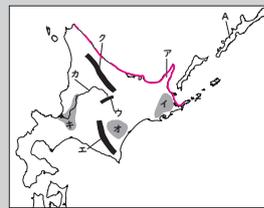
p.272 3

二つの資料から、北海道の位置や面積などについて分かることを挙げてみよう。

4. 北海道の主な地形について地図帳や教科書の資料を活用してまとめる。



p.272 1

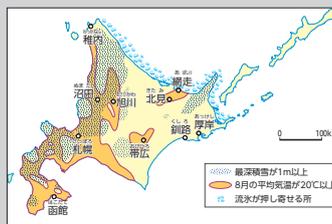


北海道の地形の名称をまとめてみよう。

5. 北海道の気候の特色を読み取り、地域によって違いが生じる理由を考察する。



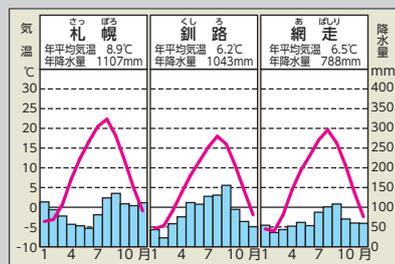
p.147 4 (上)



p.273 5

(1) 日本海側の気候

(2) 太平洋側の気候



p.273 8

北海道では、地域によって気候にどのような違いがみられるのだろうか。

6. 本時のまとめをする。

北海道地方と九州地方の地形や気候を比べて、共通点と相違点を説明しよう。

7. 学習課題への振り返りの活動を行う。

「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。

◆ 北海道は、日本の最も北に位置し、全国面積の22%を占めるが、人口はわずか4%であることを理解させる。

○ 地図帳のデジタル教科書の日本全図コンテンツを活用し、位置の確認や距離計測、面積比較などを行う。

○ 学習プリントを活用し、北海道の主な地形の名称をまとめさせる。

◆ 北海道の中央部に位置する山脈や山地の名称を確認させる。

○ 東部には火山が積もった台地が広がっていることに触れる。

○ 知床半島の特色について補足する。

○ 北海道の気候の特色を、分布図などから読み取らせる。

◆ 日本海側は冬の季節風の影響を受け、雪が多いことに気付かせる。

○ 雨温図から、地域によって冬の降水量や夏の気温が異なることに気付かせる。

◆ 太平洋の沿岸は親潮の影響を受け、夏に濃霧が発生し、気温が低いことを理解させる。

◆ 北海道地方と九州地方は火山が多い共通点がある一方で、北海道の方が気温が低いなど、気候には大きな違いがあることなどを説明できたか確認する。

○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。

整理